輝いている人を紹介します

まちのキラリ part1

第 34 回東北電力杯リトルリーグ野球大会
MLBCUP2026 東北連盟大会出場



ふくしまリーグ伊達チーム

選手　和知　祐希　さん（保原地域）
監督　髙野　英則　さん（保原地域）

第 45 回福島県リトルリーグ野球夏季大会で準優勝し、東北大会に出場した『福島リーグ伊達チーム』。白河リトルリーグとの連合チームで東北大会を戦い抜いたキャプテンの和知選手、髙野監督の思いとは…。

チーム Instagram

敗戦を糧に成長したい（和知）

県大会では「白河・伊達チーム」として連合チームで戦いました。伊達のメンバーは白河のチームに良い刺激を受けて、いつも以上に良い動きができたと思っています。試合では守備で作った良い流れを打撃にも生かせました。県大会準優勝という結果はうれしいですが、優勝できなかった悔しさも大きかったです。

東北大会では大谷翔平（おおたにしょうへい）選手を輩出した「水沢リトル」と戦いました。残念ながら負けてしまったが、水沢リトルのプレーや礼儀など参考になる部分がたくさんありました。今回の学びを糧に、日々サポートしてくれる保護者の皆さんへの感謝を忘れず、チームを引っ張っていきたいです。



Profile ●わち　ひろむ
平成 26 年生まれ。福島リーグ伊達チームのキャプテンを務める。ポジションはセンター。

県大会で準優勝できた理由（髙野）

少子化の影響から、伊達チームは白河リトルリーグとの連合で戦っています。同じメンバーで練習するとマンネリしてくるので、連合チームの話が来たとき、これは良いチャンスだと思いました。子どもたちはすぐに仲良くなり、良い雰囲気ができました。試合でも打撃が得意な白河チームと、守備が得意な伊達チームが補い合えたのが県大会で準優勝できた要因かなと思います。

東北大会に出場できたのは、子どもたちにとって良い経験だったと思います。子どもたちには野球を通じて社会性を身に付け、野球でも野球以外でも、「世の中に通じる良い人材」になってほしいと願っています。



Profile ●たかの　ひでのり
昭和 53 年生まれ。福島リーグ伊達チーム OB。20 年以上の野球指導の経験を生かし、チームの監督を務める。

にじいろのだて（男女共同参画に関するさまざまな用語を紹介！）

『リプロダクティブ・ヘルス』
（性と生殖に関する健康と権利）　……　性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、身体的・精神的・社会的に本人の意思が尊重され、自分らしく生きられることをいいます。



伊達市「だってちゃん」

輝いている人を紹介します

まちのキラリ part2

日本リトルシニア第 33 回全国選抜野球大会出場決定



福島リトルシニア

選手　佐藤　龍斗　さん（保原地域）
監督　浅見　一志　さん（梁川地域）

福島県支部大会で優勝をおさめ、第 48 回秋季新人東北大会にて 5 位の結果を記録し、全国大会への切符を手にした中学硬式野球チーム『福島リトルシニア』。その立役者である佐藤選手と浅見監督の思いとは…。

チーム HP　チーム Instagram

東北大会で感じた緊張感（佐藤）

昨年は先輩たちの東北大会を見ていましたが、やはり自分たちが選手として臨む東北大会の緊張感は、これまでのものとは異なりました。一度負けたら終わりというプレッシャーは大きかったです。だからこそ、全国大会への出場が決まった時はめちゃくちゃうれしかったです！

僕たちのチームの強みは、お互いに切磋琢磨して高め合って生まれた〝一体感〟だと思います。結果的には負けてしまいましたが、準々決勝ではその一体感がさらに強くなるのを感じました。3月の全国大会へ向けてもっとレベルを上げ、応援してくださる皆さんに結果で恩返しがしたいです。



Profile ●さとう　りゅうと
平成 24 年生まれ。中学 1 年生からは福島リトルシニアに所属し、投手を務める。9 月の福島県支部大会では MVP を獲得。

人としての成長を（浅見）

監督としての私の役割は、子どもたちに〝人間力〟を身に付けさせることだと思っています。これから野球を続けていく上でも、社会に出て働いていく上でも、人間性は非常に重要です。気持ちに浮き沈みがある多感な時期だからこそ、強い精神や考える力、そして創造力というものを、『野球』という教材を用いて指導しています。

子どもたちには本当に感謝しています。辛く厳しい練習にも耐え、よくぞ全国を勝ち取ってくれました。全国大会という新たな目標に向け、協力してくださっている保護者の皆さんと三位一体となり、練習に励みたいと思います。



Profile ●あさみ　かつし
昭和 45 年生まれ。保原高等学校（現伊達高等学校）出身。令和 5 年から福島リトルシニアの監督を務める。

※福島リトルシニアは五十沢運動場をホームグラウンドとして活動しています

※このスペースは有料広告です。詳しくは、秘書広報課（☎ 575-1113）にお問い合わせください。